

米沢市文化財年報

No. 19

文化財愛護シンボルマーク

米沢市教育委員会



笹野観音堂

天保14年（1843）に建設された社殿様式の観音堂です。重厚な茅屋根に透かし彫りや籠彫りなどを配した彫刻は、江戸時代末期の建築技術を伝える貴重な建造物です。

埋 蔵 文 化 財 事 業

本年度、埋蔵文化財に関する発掘届け及び、分布調査の依頼を受けたのは平成19年2月27日現在で51件です。分布調査によって緊急発掘調査を実施した遺跡は、花沢A遺跡と窪田元屋敷遺跡の2件でした。新たに確認した遺跡としては、窪田地区の街道西下遺跡があります。

1 花沢A遺跡「米沢駅前三丁目地内」

遺跡は、奥羽本線米沢駅北西約700mの箇所位置する縄文時代中期末葉(約4000年前)を中心とする集落跡です。大半は宅地になっていますが、果樹園等があり、当時の地形を想像できる風景を残しています。

今回の発掘調査は、ライフステージ東北株式会社が花沢A遺跡の範囲に集合住宅の建築を計画したことを受けて、試掘調査を実施したところ、開発範囲の一部に遺構があることが判明しました。

関係者と協議をした結果、開発する会社が発掘調査の一部を負担する受託事業として、契約を締結して実施したものです。

調査は平成18年5月31日～同年6月30日の期間で実施しました。その結果、遺構として竪穴住居跡1棟・掘立柱建物跡2棟・土壇51基・埋設土器14基が確認されました。遺物の出土量は、整理箱にして約20箱で、土器片が大半を占めます。

今回の調査区で注目されるのは、各遺構群の配置です。竪穴住居跡(HY1)を中心として、掘立柱建物跡(BY1.2)土壇群(DY)埋設土器群(MY)が取り囲むように点在しているのが特徴となります。

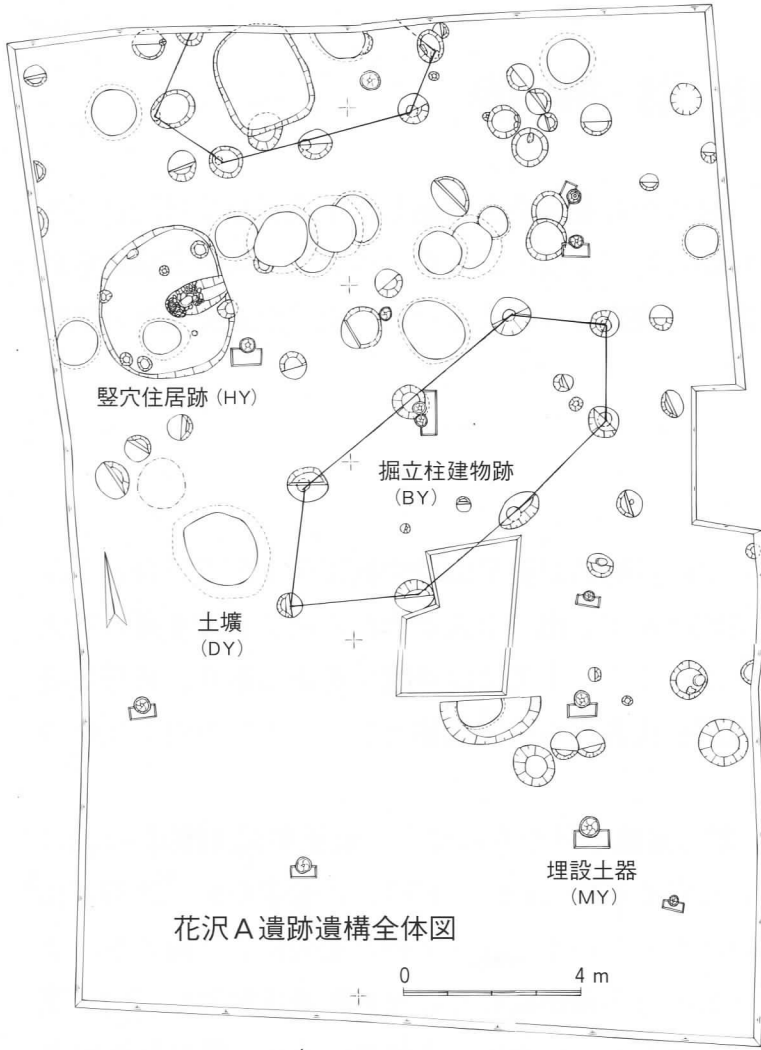
竪穴住居跡は、土器埋設石組複式炉を持つ小規模なもので、一般住居とは異なる機能が考えられます。例えば、祭祀用の施設やお産小屋などです。周囲の土壇群や埋設土器群は墓壇と考えられることから、祭祀用の施設の可能性が高いとみています。

今回の調査区は、花沢A遺跡を構成する集落全体から見れば墓域にあたる箇所と考えられます。

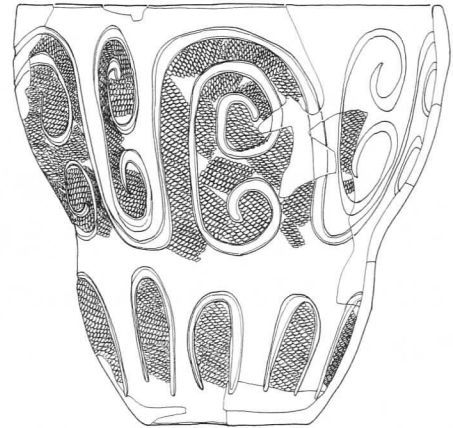
2 窪田元屋敷遺跡「窪田地区地内」

今回の調査は、個人の住宅建築に伴う小範囲の発掘調査で国庫補助事業として実施しました。出土した遺物から近世、古墳時代の複合遺跡であり、特に古墳時代(約1400年前)の墓壇(OY)が3基ある中の1基からは、副葬品と考えられる紡錘車形石製品が出土しています。本市では、初めての出土です。

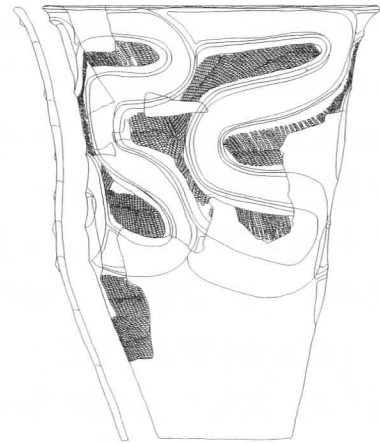
発掘調査の期間は平成18年8月7日～同年8月15日に実施しました。



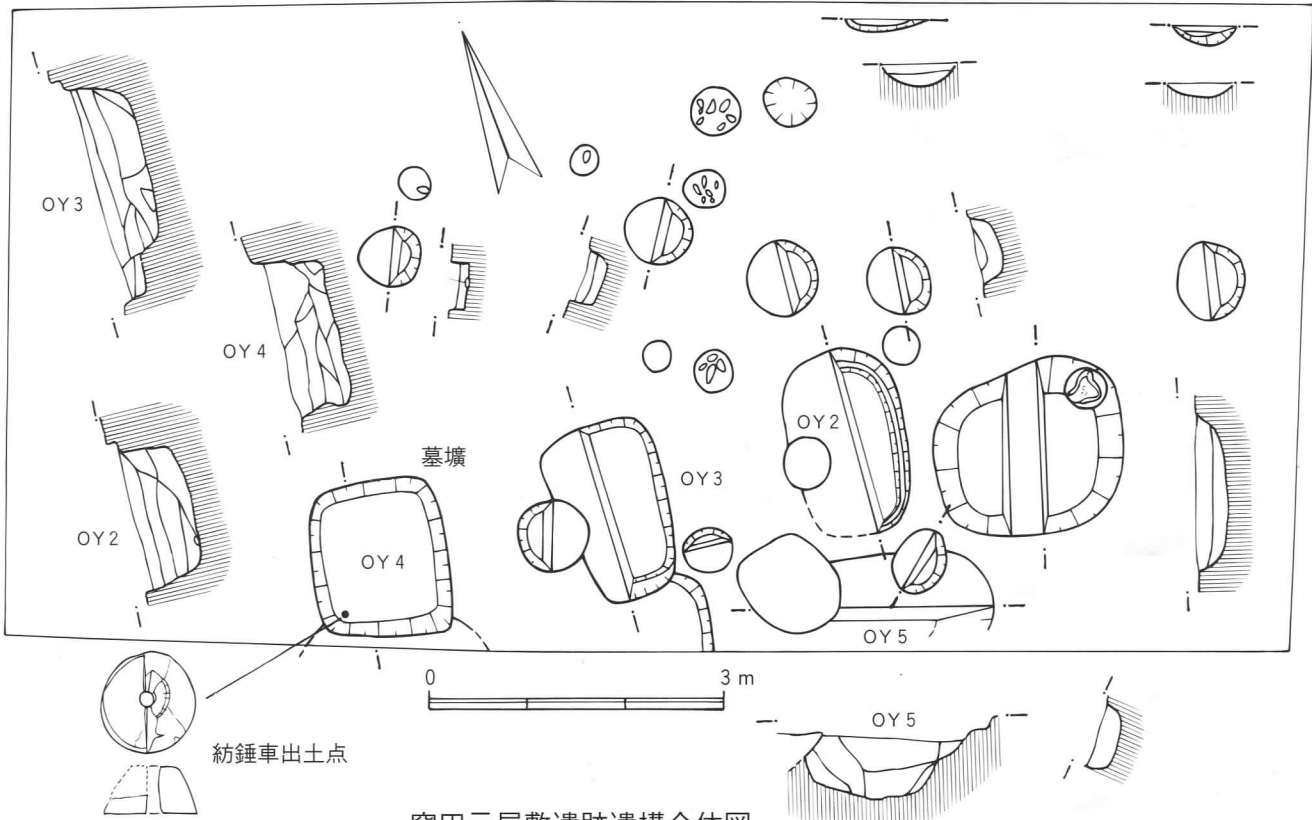
花沢A遺跡遺構全体図



花沢A遺跡出土の調整沈線文小型深鉢形土器



花沢A遺跡出土の稜線文深鉢形土器



窪田元屋敷遺跡遺構全体図

文化財事業

米沢市教育委員会は、平成19年3月14日に教育委員会を開催し、平成19年2月22日に米沢市文化財保護審議会（小形義和会長）から答申を受けた4件について、米沢市指定有形文化財及び米沢市指定天然記念物に指定する決定を行いました。下記に指定文化財の概要を述べます。

笹野観音堂

その起原は古く、延暦20（801）年、坂上田村麻呂が斜平山の中腹に千手千眼観音を安置して国家鎮護を祈願し、後の大同年間（806～810）、徳一上人が現在の地に8間4面の本堂を建立し入仏供養を行ったのが始まりとされます。本堂には華麗な透かし彫り、精巧な籠彫りなどの彫刻が各所に見られ、江戸末期を代表する社殿建築として、当時の建築技術の高さを窺い知ることができます。

現在の笹野観音堂は、天保14（1843）年に落成されたものです。永正年間（1504～1521）に千手観音像が新刻・安置され、慶長から安永年間（1596～1781）に堂宇が数回改築されましたが、天保4（1833）年火災に遭い、その後10年を経て上杉齊憲公により再建されました。また、当時再建に携わった大工棟梁渋谷嘉蔵が設計した笹野観音堂図面や板図、建築する際に用いられた尺杖（物差し）が、渋谷家に代々伝えられています。これは江戸末期の建築法を知る貴重な資料です。

一ノ坂遺跡出土遺物

一ノ坂遺跡は、全国でも類を見ない石器製作を専門に行っていた縄文前期初頭の工房集落跡です。工房跡となる我国最長（43.5m）の大型竪穴住居跡では、石鏃・石匙・石銚・両尖七首の4種類の石器を主体に製作し、広く各地に供給していました。遺跡で製作された石器群は、石材の中心部分を抽出するといった高度な方法を駆使するもので、概ね10段階の作業工程を必要とします。こうした「一ノ坂型技法」の製品は、東北南部から関東北部、中部・北陸地方の一部までの流通が確認されています。出土した遺物は、石器を中心とする約200万点に達する量で、大型深鉢形土器や瑪瑙製による石製品、加工用としての石錐や石籠状石器・磨製石斧等の石器も数多く出土しています。遺跡は平成9年7月28日に国の史跡指定を受けています。今回は深鉢形土器13点、白玉等の石製品16点、製作過程の石器群類2,061点を含めた2,090点を一括指定しました。

古志田東遺跡出土木製品類

古志田東遺跡で運河として利用されていた河川跡内から出土した木製品類で、日用品となる櫛・箸や壺・皿等の挽き物類、横槌・鋤・錘具等の農具類、鎧・弓等の武器類、文字資料となる木簡類、その他玩具の独楽及び全国初となる高麗尺を標した物差し等、東北地方でも類をみない豊富な出土品です。特に、木簡類は、古志田東遺跡の性格や生活の様子を知る数少ない文字資料として高く評価されています。遺跡が機能した平安時代の9世紀後半～10世紀前半は、律令体制が崩壊しはじめ地方豪族や有力者層が台頭する過渡期にあたります。

古志田東遺跡もこうした背景で成立した地方豪族の屋敷跡であり、出土した多種にわたる木製品の数々は、東北古代文化を究明する上で重要な資料です。遺跡は、そうした評価のもと、平成12年9月6日に国の史跡指定を受けています。

大字李山宮ノ前諏訪神社の大スギ

大字李山宮ノ前の諏訪神社境内に存在するもので、神殿に向う階段の右側脇にスギの大木があります。ウラ系スギの純系種で、推定樹齢350～400年、樹高約30m、根周り9.9m、幹周り4.35m、高さ30mを測ります。幹の一部は石段にかかっており、南側の根元には大きな空洞があります。空洞は、隣接する石の形状に類似していることで、かつてこの石を抱いていた可能性があります。神社の伝えによれば、上杉家の移封の際に、諏訪神社も李山宮ノ前地内に移築されたといわれ、樹齢等から想定し、ほぼ同じころに神社の建築に合わせて移植されたデスギの可能性が高いと思われます。樹勢の活性状況も良好で、諏訪神社の社叢林を代表する大木です。

国指定史跡 米沢藩主上杉家墓所保存修理事業

米沢藩主上杉家墓所は、江戸時代を代表する大名家墓所として、昭和59年1月11日に国の史跡に指定されました。

樹齢300年を越える杉木立に囲まれた史跡は、自然と建物とが一体化し、幻想的な空間を演出しています。史跡は、長年に亘る風雪や雨水の影響で傷みが激しくなったことから、平成6年から保存整備を国の国庫補助を採択し、歴代廟所の解体修理を主体として進めてきました。

平成17年度までに、建物の修理が終了し平成18年度は環境整備として南側及び東側柵の修理と防災設備の事業を実施しました。

区 分	平成18年度の重点	平成18年度の主な事業報告
1. 文化財共通	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の記録 ○文化財に関する諮問機関の開催 ○文化行政推進大会への参加 	<p>「米沢市文化財年報」No.19の発行、文化財マップの発行</p> <p>平成18年度米沢市文化財保護審議会の開催 (第1回目H18. 8. 1 第2回目H19. 2. 22)</p> <p>全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会総会参加</p>
2. 一般文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の調査 ○文化財の保護 ○指定文化財保存管理の充実 ○指定文化財環境整備の促進 ○無形民俗文化財後継者の促進 	<p>文化財保護審議会の委員による米沢市文化財総合調査の実施</p> <p>特別天然記念物「カモシカ」の保護</p> <p>市指定天然記念物「ホタル」及び市指定天然記念物「吾妻の白猿」保護調査</p> <p>文化財防火デーの趣旨に則り上杉神社の防火訓練及び国指定史跡「普門院」、登録文化財「吉亭」における消防設備点検の実施</p> <p>国指定史跡「米沢藩主上杉家墓所」の管理に係る事業補助</p> <p>国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」の管理に係る事業補助</p> <p>国指定史跡「米沢藩主上杉家墓所」環境整備に係る事業補助</p> <p>重要有形民俗文化財「行屋」の管理に係る助成</p> <p>国指定史跡「一ノ坂遺跡」並びに市指定史跡「戸塚山古墳群」、「谷地河原堤防（直江石堤）」等の環境整備の実施</p> <p>県指定無形民俗文化財「梓山獅子踊」保存会への補助</p> <p>綱木獅子踊り調査</p>
3. 埋蔵文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財の調査 ○埋蔵文化財の情報収集と周知 ○調査報告書の作成 	<p>「花沢A遺跡」、「市内遺跡」等個人の土木事業に伴う緊急発掘調査の実施</p> <p>開発事業に際する事前協議及び埋蔵文化財包蔵地における土木事業前の試掘調査の実施</p> <p>花沢A遺跡の調査報告書作成</p> <p>市内遺跡詳細分布調査報告書の作成</p>

発行 米沢市教育委員会
〒992-0012 米沢市金池三丁目1番55号
教育管理部文化課 文化財担当
TEL 0238-22-5111
FAX 0238-21-6925